

2019年8月23日（金）
愛知県経済産業局中小企業部
中小企業金融課スタートアップ推進グループ
担当 藪下、佐藤
内線 3676、3678
ダイヤル 052-954-6331

知事のドイツ・ロシア・フランス渡航中の行事結果について

8月22日、知事はパリにおいて世界最大級のスタートアップ支援拠点「Station F（ステーションF）」を訪問し、最先端の支援拠点を視察するとともに、拠点において進められている支援プログラムについて説明を受けました。その後、スタートアップ支援を行う高等経営大学院「INSEAD（インシアード）」を訪問し、本県や本県の大学・支援機関との連携について意見交換を行いました。

1 Station F 訪問

- (1) 日 時：8月22日（木）午後0時15分から午後3時30分まで
（日本時間午後7時15分～午後10時30分）
- (2) 場 所：Station F（パリ）
- (3) 面談者：ゴルティエ・ブランガゾー フランス財務省国際セクター局長／フレンチテック国際関係局長
ベン・ベンソー INSEAD エグゼクティブ教育科長
アクセル・グナルタン INSEAD 学長付イノベーションマネージャー
- (4) 愛知県側出席者：大村知事
- (5) 内 容：

初めに大村知事は貨物駅を改装してスタートアップ支援拠点に生まれ変わったステーションFを視察し、その後、ブランガゾー・フランス財務省国際セクター局長／フレンチテック国際関係局長から、「ステーションFはフランスの起業家グザヴィエ・ニール氏が私財を投じて2017年にオープンした世界最大級の支援拠点。ここには成長するためのコミュニティや支援プログラムなどすべての要素が揃っている。特に世界中から若者が集まる多様性やフランス政府の36行政機関が入居し、法律やビザなどの問題をワンストップで解決する環境が整っている。行政側もこの拠点において企業の課題を知ることができる。」との説明を受けた。

次にグナルタン INSEAD 学長付イノベーションマネージャーからは、INSEADがステーションFにおいて展開する支援プログラムについて「INSEADは卒業生や教授陣によるワークショップ開催や先輩起業家からのアドバイスなどスタートアップが成功するコミュニティづくりを行うことにより、戦略、資金、人材といった課題の解決プログラムを実施している。スタートアップの分野はフィンテック、AI、環境など幅広く、多くのスタートアップが巣立っている。」との説明を受けた。

【Station F 概要】

- 設 立 2017年（旧貨物駅を再整備）
- 運営者 民間（年間運営費970万ユーロ（約12億円））
- 敷地面積 約37,000㎡（別棟を含む）。3つの建物（ゾーン）の中で、入居者同士が自由に交流できる
- 入居者 スタートアップ1,100社5,000人、大企業、アクセラレーター、ベンチャーキャピタルもパートナー企業として入居
- 事業内容 スペース提供、支援プログラム実施、飲食施設等
- マイクロソフト、フェイスブック、ロレアル、INSEAD等、世界の有名企業が独自のスタートアップ支援プログラムをStation Fの場所を利用して提供

Station F 視察の様子



面談の様子



2 INSEAD（インシアード）訪問

- (1) 日 時：8月22日（木）午後4時から午後5時50分まで
（日本時間午後11時～23日午前0時50分）
- (2) 場 所：INSEAD（インシアード）（パリ郊外・フォンテーヌブロー）
- (3) 面談者：ピーター・ゼンスキー 副学長兼イノベーション科長
ベン・ベンソー エグゼクティブ教育科長
- (4) 愛知県側出席者：大村知事
- (5) 内 容：

初めに大村知事から、産学が集積する愛知の強みや「Aichi-Startup 戦略」に沿って本県が進める拠点の整備検討、イノベーションの創出、モノづくり企業とスタートアップのマッチング、海外大学・支援機関との連携などの取組を紹介するとともに、INSEAD の持つノウハウ、知見を活用した共同プロジェクトの実施について提案した。

これに対し、ゼンスキー副学長からは、「現在、とりわけ AI 技術がビジネスにどのようなインパクトを与え、どのように機能していくのかに関心がある。INSEAD は世界にネットワークを持ち、様々な文化の橋渡しや起業家教育で協力することができる。愛知県が検討する拠点における支援プログラムが重要になる。今後どのような分野をターゲットにして連携できるか意見交換していきたい。」との発言があった。

次に、ベンソー科長から「愛知県のスタートアップをステーション F のようなフランスの支援拠点に送り、そのエコシステムを愛知県に取り込むことを目指してはどうか。」との提案があった。

最後に、大村知事から引き続き情報共有を図り、本県や本県の大学・支援機関との交流・連携を進めていくことを提案し、ゼンスキー副学長と合意した。

【INSEAD 概要】

- 設立 1957 年
- ベンチャーキャピタリスト Georges Doriot (ジョージ・ドリオ氏) 始め 3 名によって設立された私立の経営大学院（ビジネススクール）。世界最大級の経営幹部教育機関
- 学生数 約 1,400 人、卒業生 約 58,000 人
- MBA ランキング：世界 MBA スクールランキング 3 位（2019）
- 200 以上の企業カスタマイズプログラム実施
- マイクロソフト、フェイスブック、ロレアル、INSEAD 等が独自のプログラムを提供し、スタートアップ支援を実施

面談の様子



知事とゼンスキー副学長兼イノベーション科長（中央）、ベンソーエグゼブティブ教育科長

